

大阪大学大学院薬学研究科 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

1. 研究課題名	切除肝組織を用いたヒト肝細胞キメラマウスの作成と応用
2. 研究責任者 (所属・職位・氏名)	大阪大学大学院薬学研究科・教授・水口裕之
3. 倫理審査と承認日	【承認日】2022年7月8日 【審査】大阪大学大学院薬学研究科・薬学部臨床研究倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の承認を得て実施する。
4. 研究実施期間	2022年7月8日～2025年3月31日
5. 共同研究機関および 各施設の研究責任者 (※多機関共同研究の場合記載)	大阪大学大学院医学系研究科・教授・竹原徹郎
6. 研究の目的・意義	ウイルス性肝炎の病態の解明や画期的な治療法の開発には、肝炎ウイルスの感染が成立する小動物モデルが必要である。しかし、B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスはヒト以外にはチンパンジーにしか感染が成立しない。一方で、核酸医薬品の検討には、ヒトの遺伝子配列を有した細胞を用いる必要がある。そのため、本研究課題では免疫不全マウスにヒト肝細胞を投与することにより、ヒト肝細胞キメラマウス作成を行う。単離したヒト肝細胞やヒト肝細胞マウスにB型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスを感染させ、病態解明やウイルス排除に効果的な薬剤を検討する。また、ウイルス性肝炎だけでなく非アルコール性脂肪肝炎など慢性肝炎に対する核酸医薬品による治療の可能性を検討する。さらに、肝切除検体を利用して、新規肝細胞培養系を確立する。これらを通じて、ウイルス性肝疾患を含めた慢性肝疾患の新規治療の開発につなげることを目的としている。
7. 対象となる試料・情報、その取得期間、利用方法	2022年7月～2023年12月の間に、大阪大学附属病院において肝切除術（肝腫瘍摘出目的の肝切除術や肝移植の際のドナー肝摘出目的の肝切除術）をされた20歳以上の患者様。
8. 利用または提供する試料・情報の項目	肝切除術で得られた検体の非腫瘍部から診断に用いない部分を少量利用する。患者様の年齢、性別、背景疾患、慢性肝炎の存在、HIV感染症に関する情報を利用する。
9. 研究対象者またはその代理人の求めにより、研究対象者が識別される資料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせいただければ、研究対象から削除いたします。
10. 研究資金・利益相反	研究資金：AMED肝炎等克服緊急対策研究事業 利益相反：利益相反については遵守する
11. お問い合わせ先	大阪大学大学院薬学研究科・教授・水口裕之 mizuguch@phs.osaka-u.ac.jpまでご連絡ください。